

2010年3月18日

各 位

会 社 名 マックスバリュ東北株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 勝浦二郎
(コード番号 2655 東証第2部)
問 合 せ 先 取締役
経営管理本部長 橋本 隆
(電話 018-847-2792)
当社の親会社 イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長 岡田元也
(コード番号 8267 東証第1部)

特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2010年2月期において下記の特別利益を計上いたしましたのでお知らせいたします。
また、最近の業績動向等を踏まえ、2009年12月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の内容

退職給付引当金戻入額 329百万円

2. 計上の理由

当社が加盟するイオン企業年金基金における退職給付制度の改定に伴い、過去勤務債務の一括処理として特別利益を計上いたします。

3. 2010年2月期個別業績予想数値の修正(2009年2月21日～2010年2月20日)

(金額の単位：百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|----------------|---------------|------------|------------|------------|-------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 93,000 | 百万円 600 | 百万円 500 | 百万円 100 | 円 銭 8 33 |
| 今回発表予想 (B) | 89,953 | 280 | 260 | 260 | 21 67 |
| 増 減 額 (B-A) | △ 3,047 | △320 | △240 | 160 | |
| 増 減 率 (%) | △3.3 | △53.3 | △48.0 | 160.0 | |
| (ご参考) | | | | | |
| 前期実績(2009年2月期) | 92,664 | 23 | 21 | △1,967 | △164 02 |

4. 修正の理由

当事業年度における北東北エリアの経営環境は、個人消費の停滞や雇用情勢のさらなる悪化、少子高齢化に伴う人口減少など、依然として厳しい状況下にあります。

こうした中で当社は、お客さまの生活防衛志向、節約志向の高まりに対応すべくイオンのプライベートブランド「ベストプライス by トップバリュ」などによる低価格訴求や一人当たり買上点

数の向上に努めましたが、期間中の営業収益は当初予想を 3,047 百万円下回る見込みとなりました。

損益面につきましては、スーパーバイザー制度の強化による仕入力と商品管理力の向上に努めるとともに、「トップバリュ」の売上拡大などにより、売上総利益率は前期比 0.3 ポイント改善し 23.5%となる見通しとなり、人件費の削減と設備費の抑制などにより経費を前期比 2.7%削減するなどの改革に努めましたが、営業収益の未達が大きく影響し営業利益は当初予想から 320 百万円減少し 280 百万円となる見込みで、当期純利益は 260 百万円となる見通しとなりました。

以 上